

川本正知教授略歴・研究業績目録

【学歴】

一九七三年四月 京都大学文学部入学
 一九七七年三月 京都大学文学部史学科西南アジア史専攻卒業

一九七八年四月 京都大学大学院文学研究科修士課程（西南アジア史専攻）入学

一九八十年三月 京都大学大学院文学研究科修士課程（西南アジア史専攻）終了

一九八十年四月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程（西南アジア史専攻）進学

一九八三年三月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程（西南アジア史専攻）研究指導認定

一九八三年三月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程（西南アジア史専攻）退学

二〇〇六年七月 京都大学 博士（文学）

【職歴】

一九八三年四月 京都大学文学部羽田記念館教務補佐員

（一九八六年三月迄）

一九八七年三月 日本学術振興会特別研究員（一九八九年三月迄）

一九八九年四月 奈良産業大学経済学部専任講師（担当…歴史学）

一九九一年三月 奈良産業大学経済学部助教授（担当…歴史学）

一九九六年三月 日本学術振興会カイロ研究連絡センター長（一九九七年三月迄）

一九九九年四月 奈良産業大学経済学部教授（担当…歴史学）

二〇〇六年六月 奈良産業大学図書館長（二〇〇七年三月迄）

二〇〇七年三月 奈良産業大学ビジネス学部教授

二〇一〇年三月 奈良産業大学地域公共学総合研究所教授

二〇一四年三月 奈良学園大学ビジネス学部教授

二〇一七年四月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任教授（二〇二〇年三月迄）

二〇一九年四月 奈良大学文学部史学科教授（二〇二四年三月退職）

【論文】

- 「ナクシユバンディー教団の修業法について」(一九八〇年九月、『東洋史研究』四二二二)
- 「ホージャ・アフラルとアブー・サイード——ティムール朝における聖者と支配者——」(一九八六年十二月、『西南アジア研究』二二五)
- 「十二世紀におけるスーフィズムの実践について」(一九八八年十二月、『オリエント』三一一二)
- 「ホージャ・アフラルのワクフ文書」(一九八九年三月、『人文学報』六五)
- 「イスラムの私有財産 (milk) について」(一九九一年十二月、『オリエント』三四一二)
- 「ホージャ・アフラルの不動産登記文書——小さなワクフ文書を中心として——」(一九九一年三月、『文部省科学研究費重点領域研究「イスラムの都市性」研究報告』研究会報告編三〇号)
- 「ホージャ・アフラルの不動産登記文書——十五世紀中央アジアの私有財産所有について——」(一九九一年十二月、『東洋史研究』五〇一三)
- 「中央アジアのテュメンなる地域区分について」(二〇〇〇年九月、『西南アジア研究』五三)
- 「ナクシユバンディー教団研究の基礎資料について」(二〇〇二年三月、『ホージャ・アフラル』(一四〇四—一四九〇)) (二〇〇二年三月、新免康編『中央アジアにおける共属意識とイスラムに関する歴史的研究』(平成十一年度—十三年度科学研究費補助金基盤研究(A) (二二) 研究成果報告書 (課題番号 11691011))
- 「十五世紀中央アジアの聖者伝『ホージャ・アフラルのマカーマート』の研究」(二〇〇六年七月、博士論文(京都大学))
- 「十六世紀中央アジアのソウルガル下賜文書」(二〇〇六年三月、堀川徹編『中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と編成に関する歴史学的研究』平成十四—平成十七年度科学研究費補助金基盤研究(A) (二二) 研究成果報告書 (課題番号 14201037))
- 「ナクシユバンディー教団の修業法について」(二) アブド・アッラフマーン・ジャーミール著『ホージャガーンの修業法についての論考』より」(二〇〇八年九月、『西南アジア研究』六九)
- 「シリア・アラブ共和国のキリスト教——「シリア語とシ

リア語使用環境の調査」の予備知識として——」（二〇〇九年二月、前川和也編『シリア・メソポタミア世界の文化接触・民族・文化・言語（科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成」研究領域番号・一二四 平成二十年度研究集会報告）』

「ホージャ・アフラルの資産とワクフ」再考」（二〇一〇年三月、『平成二〇年度文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」委託費による「イスラーム地域研究」にかかわる共同研究課題の公募事業「イスラーム法とテクノロジー」二〇〇九年度研究成果報告』）

「モンゴル帝国における戦争——遊牧民の部族・軍隊・国家とその定住民支配」（二〇一〇年九月、『アジア・アフリカ言語文化研究』八〇）

「バハー・ウッディーン・ナクシュバンドの生涯とチャガタイ・ハン国の終焉」（二〇一二年三月、『東洋史研究』七〇—四）

「カラウナスとチャガタイ・ハン国・マルコ・ポーロのカラオナスをめぐる」（二〇一五年二月、『歴史と地理』六八一）

「チャガタイ・ウルスとカラウナス」ニクダリヤーン——

『歴史集成』「チャガタイ・ハン紀」の再検討——」（二〇一七年三月、『西南アジア研究』八六）

「ハーフィズ・アブルー『歴史集成』第三巻中の「モンゴル史」の「チャガタイ・ハン紀」校訂テキスト」（二〇二〇年三月、『アジア・アフリカ言語文化研究』九

九）

【書籍】

『アブー・ドゥラフのイラン旅行記』（共訳、一九八一年九月、京都大学文学部羽田記念館）

「ナクシュバンディー教団」（一九八九年十二月、柴田三千雄ほか編『世界史への問い 四 社会的結合』岩波書店、一六七—一九九頁）

「イスラム法と十六世紀サマルカンドの遺産相続」（一九九三年四月、前川和也編『家族・世帯・家門・工業化以前の世界から』ミネルヴァ書房、三六五—三八九頁）

「イスラム神秘主義教団」（二〇〇〇年四月、間野英二編『アジアの歴史と文化 九 西アジア史』同朋社、二〇三—二一七頁）

The 15th century Central Asian hagiography Maqāmāt-i Khwāja

Ahḡār : memoirs concerning Khwāja Ahḡār (1404-1490).

(ペルシア語校訂本、二〇〇四年十二月、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

『ホージャ・アフラルのマカーマート…15世紀中央アジアの聖者伝』(翻訳、二〇〇五年十二月、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

『モンゴル帝国の軍隊と戦争』(二〇一三年十二月、山川出版社)

『中央アジアにおける聖者崇拜の実態』(二〇一五年三月、帯谷知可・北川誠一・相馬秀廣編集『朝倉世界地理講座 第5巻 中央アジア』一二二—一二四頁)

『ラシード・ウッデイン・ファズル・アッラー『歴史集成 第1巻モンゴル史 クビライ・カーアーン紀 テムル・カーアーン紀』(二〇二四年三月、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

『モンゴル帝国の定住民支配』(二〇二四年六月、『奈良大ブックレット十二 史料から広がる世界 奈良から世界へ 過去から未来へ』二十二—二十九頁)

【批評・紹介】

「R.A. ニコルソン著中村潔訳『イスラーム神秘主義におけるペルソナの理念』」(一九八一年九月、『史林』六四—五、七五—七六頁)

「一九八七年の歴史学界…回顧と展望(内陸アジア二)」(一九八八年五月、『史学雑誌』九七—五、八五四—八六〇頁)

「赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編『イスラームの神秘主義と聖者信仰』(二〇〇五年十月、『イスラム世界』六十五、一一四—一二六頁)

「櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉編『元朝の歴史—モンゴル帝国期の東ユーラシア—』(二〇二一年十一月、『二・三・一四世紀東アジア史料通信』二二六、一一—四頁)

【辞典項目】

「修行(イスラム神秘主義の)」「聖者(イスラム神秘主義教団の)」「漂泊(イスラムの)」(一九九六年十二月、『歴史学事典四 民衆と変革』弘文堂)

「ブハラ」「イシャーン」「ナクシュバンディー教団」(二〇

○一年十月、『角川世界史事典』角川書店)

「ナクシユバン」ド」「ニーマトウツラー・ヴァリー」「ホー
ジャ・アフラー」「ズィクル」「ハーンカー」「ピール」
「ファキール」(二〇〇二年二月、『岩波イスラーム辞典』
岩波書店)

【講演・口頭発表】

「ティムール朝におけるワクフについて」(一九八七年四月、
日本オリエント学会大会)

「ティムール朝におけるワクフについて——ホージャ・ア
フラーのワクフ文書——」(一九八七年十月、日本
中東学会)

「ホージャ・アフラーの不動産登記文書」(一九八九年十
一月三日、東洋史研究会大会)

「バハーウッディーン・ナクシユバンとチャガタイ・ハー
ン」(一九九四年十一月、史学会大会)

「ナクシユバンディー教団の道統(legitimacy)について——シャ
イフ・ナズィム・アルハッカーニー(一九二二—)
の系譜より——」(二〇〇二年十二月十四日、西南ア
ジア研究会総会)

「十五世紀中央アジアの聖者伝『マカーマレー・ホージャ・
アフラー』について」(二〇〇四年十一月十三日、
第五三回羽田記念館講演会)

「ホージャ・アフラーの資産とワクフ」再考」(二〇〇
五年二月五日、東京外国語大学アジア・アフリカ言語
文化研究所「イスラーム写本・文書資料の総合的研究」
平成十六年度第三回研究会)

「スーフィズムの「中国的」諸相——ムジャッディディー
ヤ科研中国北西部地域調査報告——」(二〇一五年三
月二八日、日本中央アジア学会二〇一四年度年次大会)
「フエルガナ盆地のムジャッディディーヤ——ムジャッ
ディディーヤ科研ウズベキスタン調査報告——」(二
〇一六年三月二八日、日本中央アジア学会二〇一五年
度年次大会)

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

(研究代表者の場合のみ)

「中東地域におけるイスラーム神秘主義教団の歴史」(日本
学術振興会 科学研究費助成事業 奨励研究(A)一九八七
年—一九八八年)

「中央アジアにおけるイスラーム神秘主義教団の経済基盤の研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 奨励研究(A) 一九九〇年―一九九〇年)

「イスラーム神秘主義教団史の基礎資料の収集と研究」(日本学術振興会 萌芽研究 (研究課題番号: 1287104) 二〇〇〇年四月―二〇〇三年三月)

「中東におけるシリア語文献とシリア語使用環境としての東方キリスト教会の調査研究」(日本学術振興会 挑戦的萌芽研究 (研究課題番号: 20652006) 二〇〇八年四月―二〇一一年三月)

「アフマド・スイルヒンディーとムジャッディディーヤの調査研究」(日本学術振興会 基盤研究(B) (海外学術調査) (研究課題番号: 2530023) 二〇一三年四月―二〇一六年三月)

「ラシード・ウッディーン『歴史集成』写本のミニアチュールの総合的研究」(日本学術振興会 基盤研究(B) (海外学術調査) (研究課題番号: 16H05810001) 二〇一六年四月―二〇一九年三月)

「ラシード・ウッディーン『歴史集成』のクビライ・ハン紀の校訂と訳注」(公益財団法人JFE21世紀財団

JFE21世紀財団アジア歴史研究助成 二〇二二年一月―二〇二二年一月)

「ハラム文書に含まれるペルシア語文書の解読と研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 二〇二一年四月―二〇二五年三月)